【地域情報化の主な成果事例】
クラウドを活用した医療履歴の一元化（NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター【京都府京都市】）

※総務省「地域情報化大賞２０１４」大賞・総務大臣賞受賞

○取組前の状況

医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少

○取組の概要

・NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（京都市）が、通常医療機関毎に管理されている住民の診療・投薬履歴を、医療機関等が連携してクラウドで一元管理し、利用者がスマートフォンやケーブルＴＶ等インターネット経由で自ら確認・管理する仕組みを構築

・併せて地域共通診察券を発行

→地域住民が、様々な端末から自己の医療履歴を無料でかつ安心して確認できるシステムを確立

取組の成果

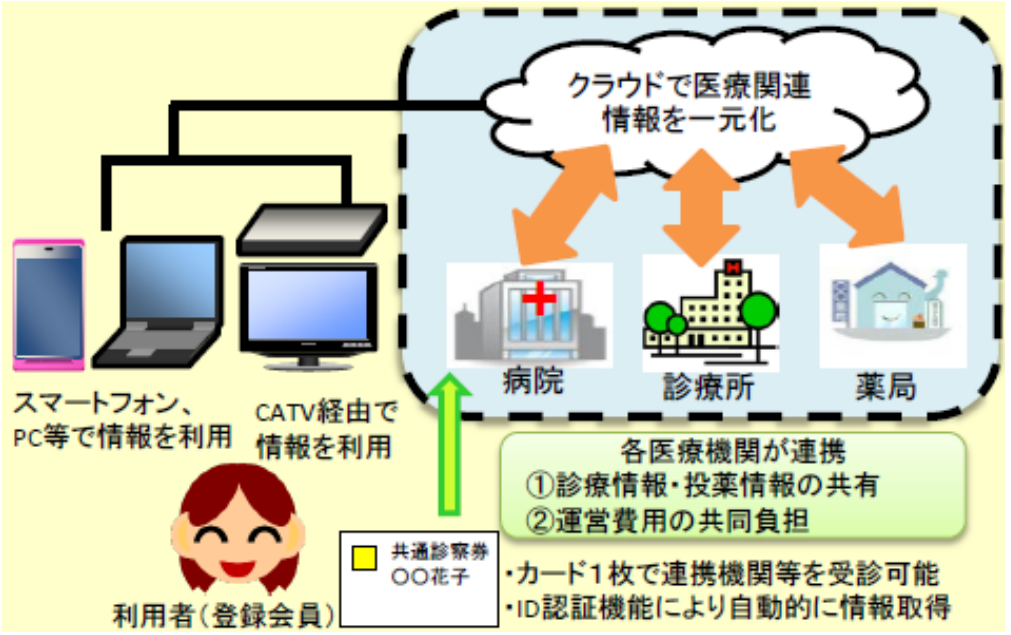
地域住民が効率的で安心できる連携医療環境を実現

・利用者数が急速に拡大。登録会員（カード保有者含む）数約５万人。※平成27年12月時点

・医療機関・薬局等も多数参加。対応医療機関（京都市内）18病院、35診療所、調剤薬局（全国）2,000局以上

・医療機関等から利用料を徴収。公的資金に頼らずに自立的・継続的に事業運営

・近隣府県（大阪府、兵庫県、奈良県）や神奈川県、愛知県（名古屋市）等、７地域へ展開中



【参考】ポケットカルテ　https://pocketkarte.net/q_top.action